

電子証明書マニュアル

2025/10/14

東京証券取引所

Ver. 2.1

変更履歴

版数	変更日	変更箇所	変更内容
1.0	2021/07/19	新規作成	
1.1	2021/10/25	8.よくあるご質問	エラー内容の修正
1.2	2021/12/20	7.各サービスへのログイン	TDnet システム URL の変更
1.3	2022/4/18	2.1.各システム概要	JPX 総研の設立に伴い、一部文言を変更
1.4	2022/7/22	1.動作確認状況	推奨環境の修正
1.5	2022/9/30	6.電子証明書の再発行 7.各サービスへのログイン 8.よくあるご質問	・旧バージョンの証明書に関する記載を削除 ・Target の電子証明書再発行申請書提出に関する記載を削除
1.6	2022/12/23	1.動作確認状況	推奨環境の修正
1.7	2024/3/8	1.動作確認状況 2.システム利用における電子証明書の利用について 7.各サービスへのログイン 8.7.パスワード失念時の対処	・推奨環境の修正 ・清算受渡システムを追加 ・「2.1.各システム概要」を削除 ・「8.7.パスワード失念時の対処」の記載を修正

1.8	2025/1/17	4.2.電子証明書 の取得 5.3.古い電子証 明書の削除 8.6.端末にイン ストールされて いる電子証明書 の確認方法がわ からない。	ブラウザメニューの記載を変更
2.0	2025/9/5	全体	証明書発行サービス更改に伴う刷新
2.1	2025/10/14	1.動作確認状況	推奨環境の修正

Copyright © Tokyo Stock Exchange, Inc. All Rights Reserved.

本ガイドブックに関する著作権は、すべて発行者である株式会社東京証券取引所に帰属します。

したがって、株式会社東京証券取引所が適当と認める範囲における複製・改変を除き、許可なくその全部又は一部を複製・転載し又は改変するなど、株式会社東京証券取引所の著作権を侵害する行為は、これを一切禁じます。

本書では電子証明書の新規取得や更新方法等について解説いたします。各種システムの操作方法につきましては、対象システムのマニュアルをご参照ください。



重要

動作環境により、マニュアルの記載内容と差異が発生する場合がございます。

目 次

1. 動作確認状況	1
2. システム利用における電子証明書の利用について	2
2.1. 電子証明書とは.....	3
2.2. 全体イメージ	3
2.3. 電子証明書ご利用に係る作業フロー	4
3. 事前準備	7
3.1. ユーザ ID およびパスワード	7
3.2. 端末設定.....	7
3.2.1. インターネット接続確認.....	7
3.2.2. ブラウザ設定	7
4. 電子証明書の新規発行.....	8
4.1. 端末設定の確認・変更	8
4.2. 電子証明書の取得	8
5. 電子証明書の更新.....	16
5.1. 電子証明書の状態確認.....	17
5.2. 古い電子証明書の削除.....	20
6. 電子証明書の再発行	23
6.1. 電子証明書の失効	24
6.2. 電子証明書の再取得	29
7. 各サービスへのログイン	30
8. よくあるご質問	31
8.1. 端末を変更した場合の手続きがわからない。	31
8.2. 電子証明書取得端末を間違えてしまった。	31
8.3. 電子証明書発行状態を確認したい。	32
8.4. 「有効なクライアント証明書ではありません」と出力される。	35
8.5. 「既に有効な証明書が発行されています」と出力される。	36
8.6. 端末にインストールされている電子証明書の確認方法がわからない。	37
8.7. 電子証明書の有効期限が切れてしまった。	38
8.8. パスワードを失念してしまった。	39

1. 動作確認状況

■ オペレーションシステム、インターネットブラウザ

※下記に記載の環境は証明書発行サービスの推奨環境となります。

各利用システムの推奨環境と併せてご確認ください。

OS	ブラウザ
Windows 11	Google Chrome Microsoft Edge ※適宜最新バージョンをご利用ください

2. システム利用における電子証明書の利用について

以下のシステムにおいては、他者の成りすましによる悪用を防止するため、電子証明書による認証を行います。

各システムのユーザ ID 毎に紐付く電子証明書が必要です。

本書の手順に従い、電子証明書を取得した端末からご利用ください。

■対象システム

TDnet

J-IRISS

清算受渡

2.1.電子証明書とは

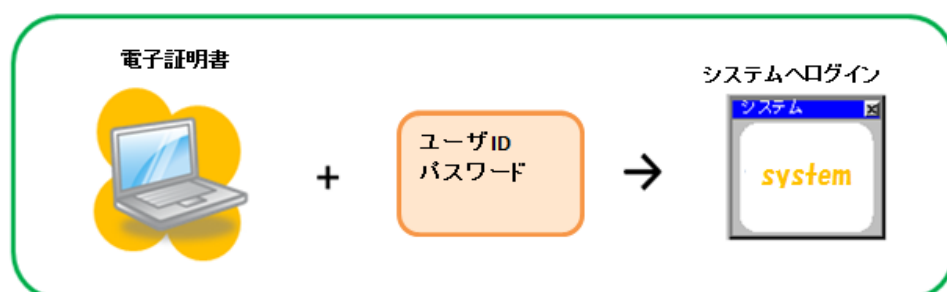
システムをご利用頂くため、各システムのユーザ ID・パスワードによる認証に加え、利用者端末の認証により本人確認を行います。

この利用者端末確認の役割を果たすものが電子証明書です。

この電子証明書による端末認証により、高いセキュリティレベルが確保され、第三者による「なりすまし」を防ぐことができます。

システムのご利用には以下のご用意が必要です。

- 各システムのユーザ ID・パスワード
- 電子証明書



2.2.全体イメージ

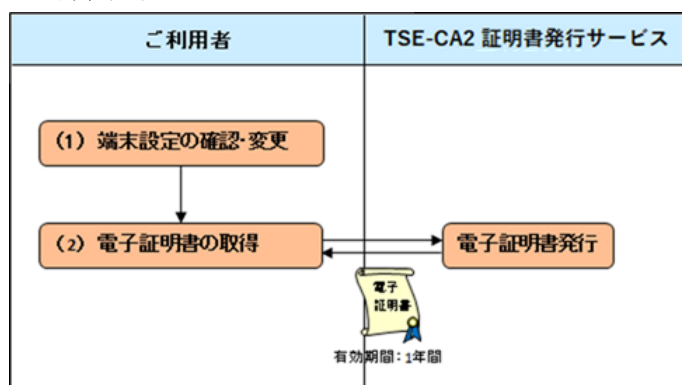
1. 電子証明書を発行し、利用端末に電子証明書をインストールします。
特定の端末に、1IDにつき1つの電子証明書が必要です。
2. 電子証明書が組込まれた利用端末のみ、ご利用システムへのアクセスを行うことができます。

2.3. 電子証明書ご利用に係る作業フロー

電子証明書の利用にあたっての作業は 3 種類あります。本マニュアルでは、それぞれの操作方法について説明します。

A. 新規発行	初めて電子証明書を発行する際の手順について説明します。
B. 更新	電子証明書の有効期限到来時の更新手続き手順について説明します。
C. 再発行 (失効)	利用者端末の変更等のため、有効な電子証明書を失効させる際の手続きについて説明します。

A. 新規発行



(1) 端末設定の確認・変更

証明書新規発行の実施前に、事前準備をして頂く必要があります。
詳細は「[4.1.端末設定の確認・変更](#)」をご参照ください。

(2) 電子証明書の取得

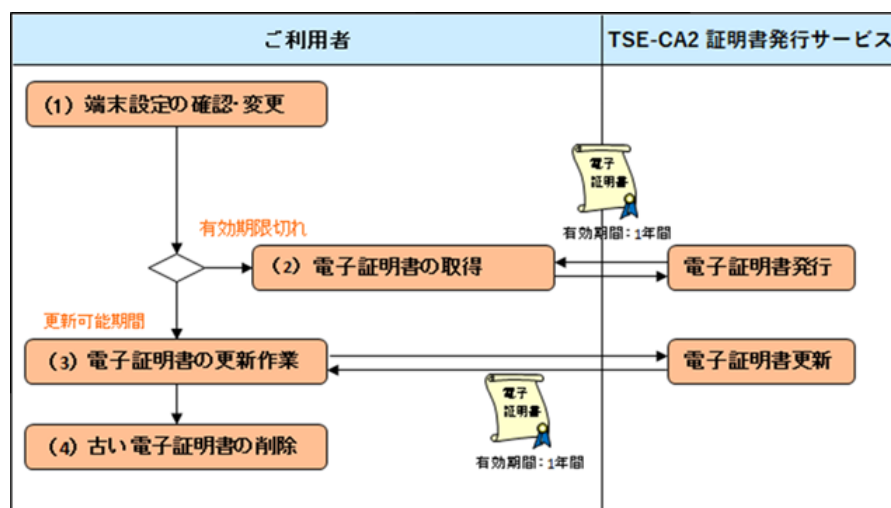
証明書発行サービスにて手続きを行っていただくことで、証明書の取得が可能です。
詳細は「[4.2.電子証明書の取得](#)」をご参照ください。

利用可能期間は 1 年間です。

※電子証明書の有効期限については、「[8.3.電子証明書発行状態を確認したい。](#)」に記載されている操作にてご確認ください。

※有効期限が切れてしまった場合は「B.更新 (2)」をご確認ください。

B. 更新



(1) 端末設定の確認・変更

証明書更新の実施前に、事前準備をして頂く必要があります。
 詳細は「[4.1.端末設定の確認・変更](#)」をご参照ください。

(2) 電子証明書の取得

電子証明書の有効期限が切れている場合は証明書新規発行が可能です。
 詳細は「[4.2.電子証明書の取得](#)」をご参照ください。

(3) 電子証明書の更新作業

新しい証明書の取得を行います。
 詳細は「[4.2.電子証明書の取得](#)」をご参照ください。

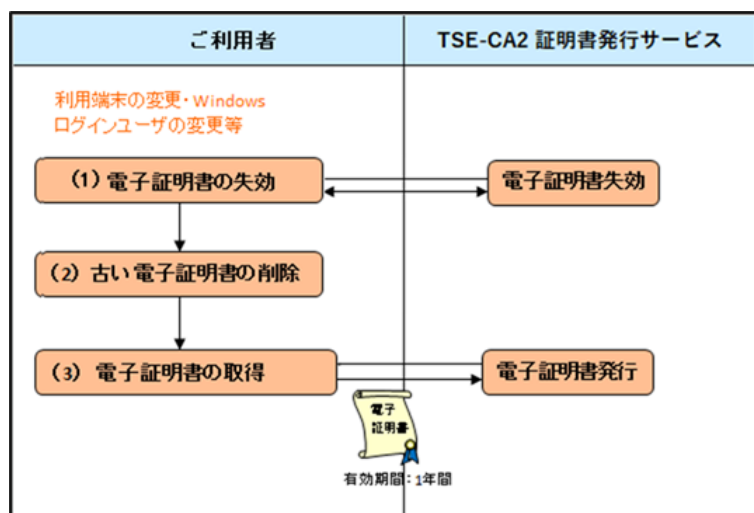
(4) 古い電子証明書の削除

証明書の更新後は、古い証明書を削除してください。
 詳細は「[5.2.古い電子証明書の削除](#)」をご参照ください。

C. 再発行（失効）

証明書の有効期間中、下記に示す場合、現在有効な証明書を無効にして、新しく証明書を再発行することができます。

- ・ 故障や買い替え等による利用者端末の変更
- ・ Windows ユーザの変更
- ・ 証明書の削除



(1) 電子証明書の失効

有効な証明書を失効させ、新規取得が可能な状態にする必要があります。
詳細は「[6.電子証明書の再発行](#)」をご参照ください。

(2) 古い電子証明書の削除

証明書の失効後は、古い証明書を削除してください。
詳細は「[5.2.古い電子証明書の削除](#)」をご参照ください。

(3) 電子証明書の取得

「証明書新規発行」と同じ手順で、各システムのユーザ ID・パスワードを入力し、利用者端末に証明書を取得します。
詳細は「[4.2.電子証明書の取得](#)」をご参照ください。

3. 事前準備

証明書発行サービスのご利用にあたって、以下の初期設定をしてください。

※動作環境により、マニュアルの記載内容と差異が発生する場合がございます。

3.1. ユーザ ID およびパスワード

証明書を取得するためには、各システムのユーザ ID とパスワードが必要です。事前にユーザ ID とパスワードを準備してください。

3.2. 端末設定

3.2.1. インターネット接続確認

インターネットをご利用できる環境が必要となります。

3.2.2. ブラウザ設定

お使いのブラウザの JavaScript を有効に設定してください。

4. 電子証明書の新規発行

有効期間は 1 年間となっており、証明書が発行されてから 1 年間は、システムで利用することが可能です。

4.1. 端末設定の確認・変更

証明書の新規発行を行う前に、ブラウザの設定が適切かどうか確認し、適切でない場合は設定を変更する必要があります。確認・変更手順は、「[3.事前準備](#)」を参照してください。

4.2. 電子証明書の取得

TSE-CA2 証明書発行サービスのメインページにおいて、証明書新規発行の手続きを行います。手順に従い作業を実施することで電子証明書の取得を行うことができます。TSE-CA2 証明書発行サービスの URL は以下のとおりです。

<https://portal.arrowfront.jp/ra2/cert/reg/tseca/>

※ http ではなく https であることにご注意ください。



ご注意

本手順では、電子証明書を発行する際に、Windows ログイン ID も記録されます。

電子証明書の発行時と異なる Windows ログイン ID では、ご利用システムへログインすることはできません。

必ず貴社システム管理者にご相談のうえ、電子証明書を発行する利用者端末の Windows ログイン ID を確定したうえで、電子証明書の取得作業を行ってください。

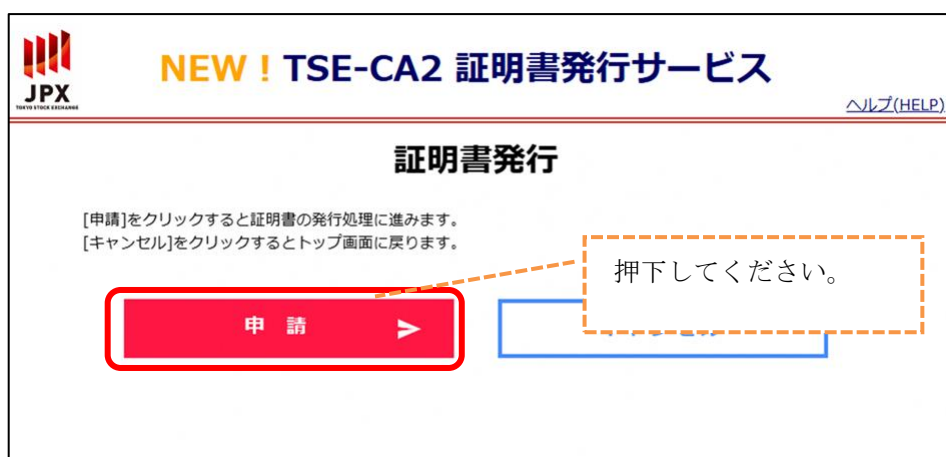
- ① TSE-CA2 証明書発行サービスのログイン画面にて電子証明書を取得するユーザ ID およびパスワードを入力し、「ログイン」ボタンを押下してください。

The screenshot shows the login page for the TSE-CA2 certificate issuance service. At the top left is the JPX logo. The header text reads "NEW ! TSE-CA2 証明書発行サービス" with a "ヘルプ(HELP)" link on the right. The main heading is "ログイン". Below it, a red-bordered box contains the instruction: "ユーザIDとパスワードを入力して「ログイン」ボタンを押してください。" (Enter your user ID and password and click the "Login" button). This box contains two input fields labeled "ユーザID" and "パスワード", and a "ログイン" button. A dashed orange box points to the "ログイン" button with the text "入力後、押下してください。" (After input, please click). Below the input fields, there are links for "パスワードが分からないときは、「パスワードをお忘れですか?」を押してください。" and "パスワードをお忘れですか?", and "証明書発行サービスの操作方法是「電子証明書マニュアル」を押してください。" with a link to "電子証明書マニュアル". At the bottom of the main content area is a link for "旧バージョンの電子証明書管理はこちら". The footer contains the copyright notice: "Copyright © Tokyo Stock Exchange, Inc. All rights reserved."

- ② TSE-CA2 証明書発行サービスのメインページより、「証明書発行」を押下してください。

The screenshot shows the main page of the TSE-CA2 certificate issuance service. At the top left is the JPX logo. The header text reads "NEW ! TSE-CA2 証明書発行サービス" with a "ヘルプ(HELP)" link on the right. The main content area has three sections. The first section, "証明書発行", is highlighted with a red box and a dashed orange box pointing to it with the text "押下してください。" (Please click). Below this section is a link for "証明書情報の確認/失効". The second section, "電子証明書マニュアル", is highlighted with a green box and a dashed orange box pointing to it with the text "押下してください。" (Please click). Below this section is a link for "電子証明書マニュアル". The footer contains the copyright notice: "Copyright © Tokyo Stock Exchange, Inc. All rights reserved."

- ③ 証明書発行画面にて、「申請」ボタンを押下してください。



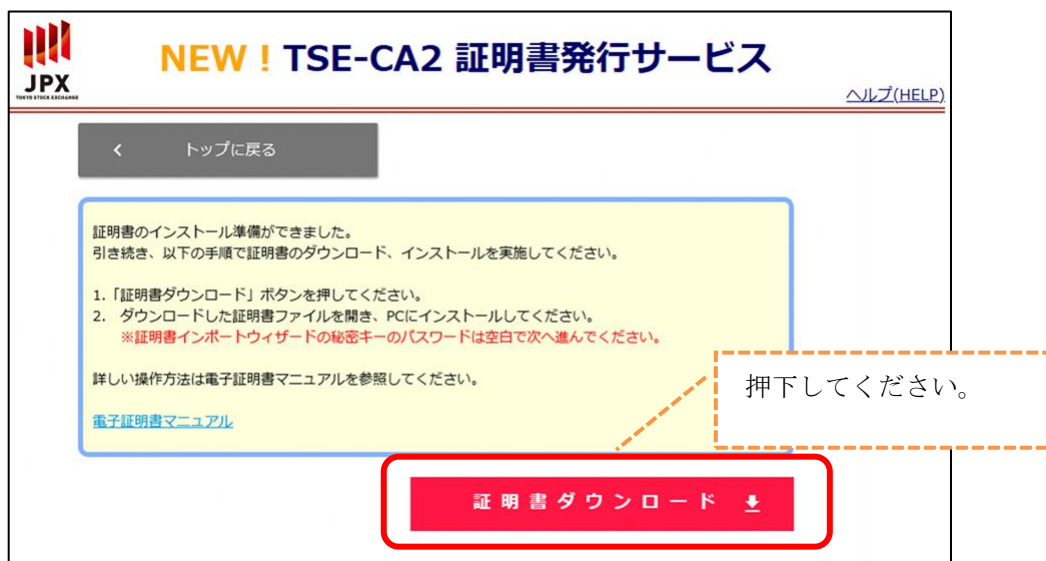
ご注意

証明書発行画面にて「申請」ボタンを押下後、「既に有効な証明書が発行されています」と出力された場合、既に有効な電子証明書が発行されています。

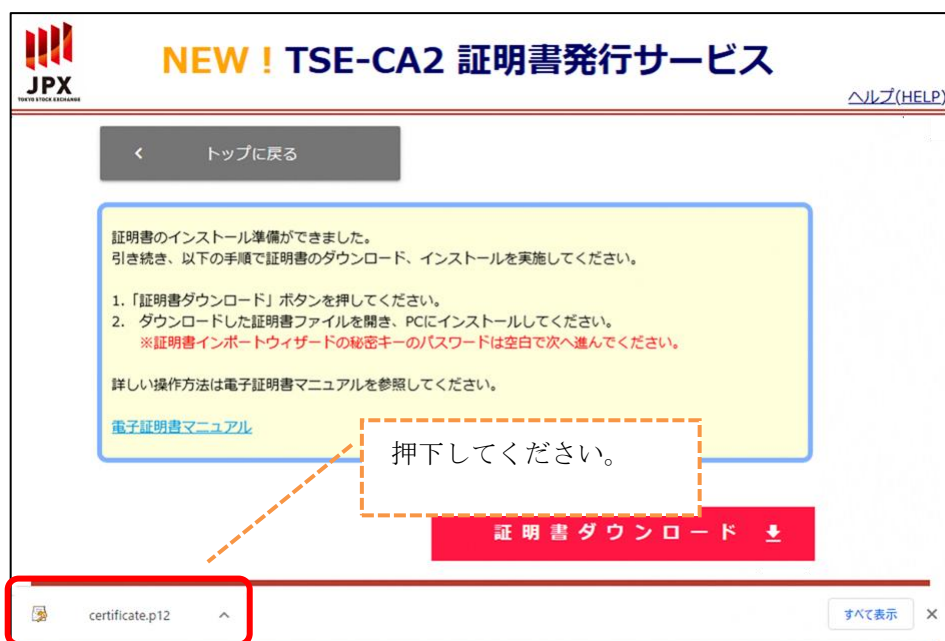
「[8.よくあるご質問](#)」の「[8.5.「既に有効な証明書が発行されています」と出力される。](#)」をご参照ください。

- ④ 「証明書ダウンロード」ボタンを押下してください。

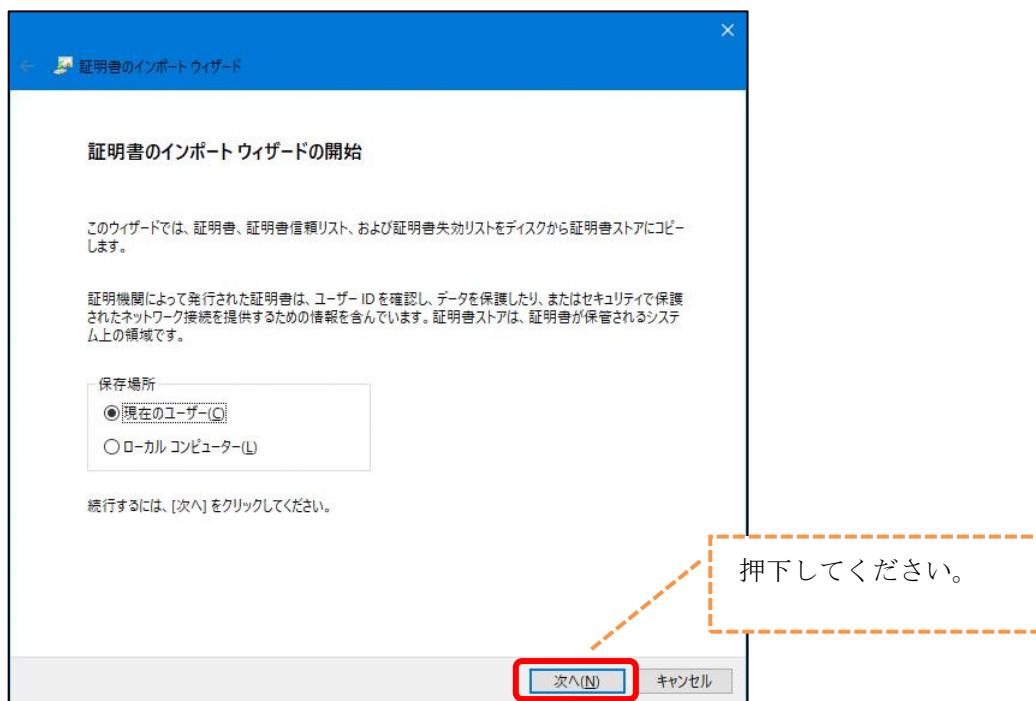
※証明書のインストールは完了していません。



- ⑤ ダウンロードされた証明書のファイルを開いてください。



- ⑥ 証明書のインポートウィザードが起動します。「次へ」ボタンを押下してください。



- ⑦ 「次へ」ボタンを押下してください。

証明書のインポートウィザード

インポートする証明書ファイル

インポートするファイルを指定してください。

ファイル名(E):

参照(R)...

注意: 次の形式を使うと1つのファイルに複数の証明書を保管できます:

Personal Information Exchange- PKCS #12 (.PFX,.P12)

Cryptographic Message Syntax Standard- PKCS #7 証明書 (.P7B)

Microsoft シリアル化された証明書ストア (.SST)

次へ(N) キャンセル

押下してください。

- ⑧ 「次へ」ボタンを押下してください。

※秘密キーの「パスワード」欄は何も入力せずに次へ進んでください。

証明書のインポートウィザード

秘密キーの保護

セキュリティを維持するために、秘密キーはパスワードで保護されています。

秘密キーのパスワードを入力してください。

パスワード(P):

パスワードの表示(B)

インポート オプション(O):

☐ 秘密キーの保護を強力にする(E)
このオプションを有効にすると、秘密キーがアプリケーションで使われるたびに確認を求められます。

☐ このキーをエクスポート可能にする(M)
キーのバックアップやトランスポートを可能にします。

☐ 仮想化ベースのセキュリティを使用して秘密キーを保護する(エクスポート不可)(P)

☒ すべての拡張プロパティを含める(A)

次へ(N) キャンセル

押下してください。

- ⑨ 「次へ」ボタンを押下してください。

証明書ストア

証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。

Windows に証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。

☒ 証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)

☐ 証明書をすべて次のストアに配置する(P)

証明書ストア:

参照(R)...

次へ(N) キャンセル

押下してください。

- ⑩ 「完了」ボタンを押下してください。

証明書のインポートウィザードの完了

[完了] をクリックすると、証明書がインポートされます。

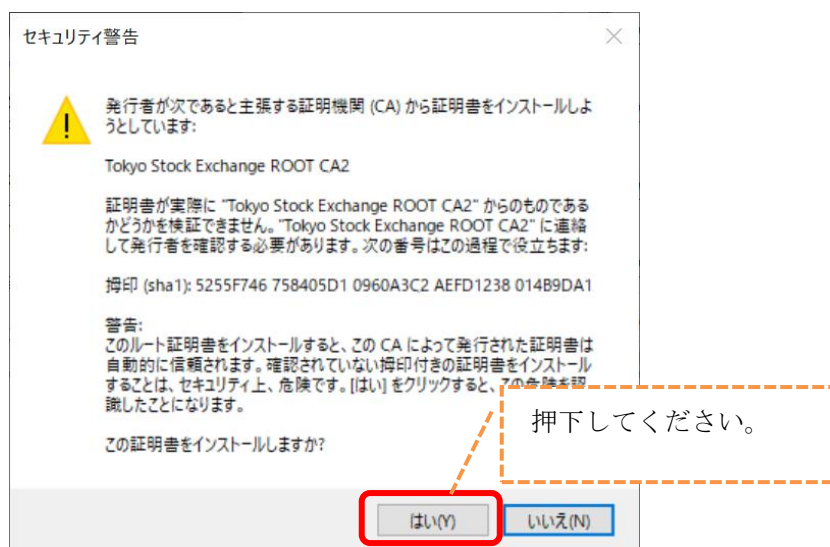
次の設定が指定されました:

選択された証明書ストア	ウィザードで自動的に決定されます
内容	PFX
ファイル名	C:\...

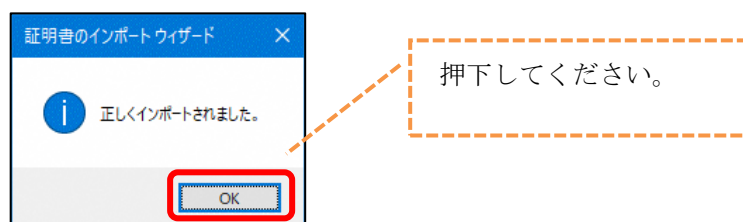
完了(F) キャンセル

押下してください。

※「完了」ボタンを押下後に、以下のダイアログが表示された場合は、「はい」ボタンを押下してください



- ⑪ 「OK」ボタンを押下してください。



- ⑫ ブラウザを再起動してください。
※ブラウザを再起動していただくことで最新の電子証明書が有効となります。

- ⑬ ブラウザに証明書が正しくインストールされた事を確認します。
証明書の管理画面を開いてください。

【Google Chrome の場合】

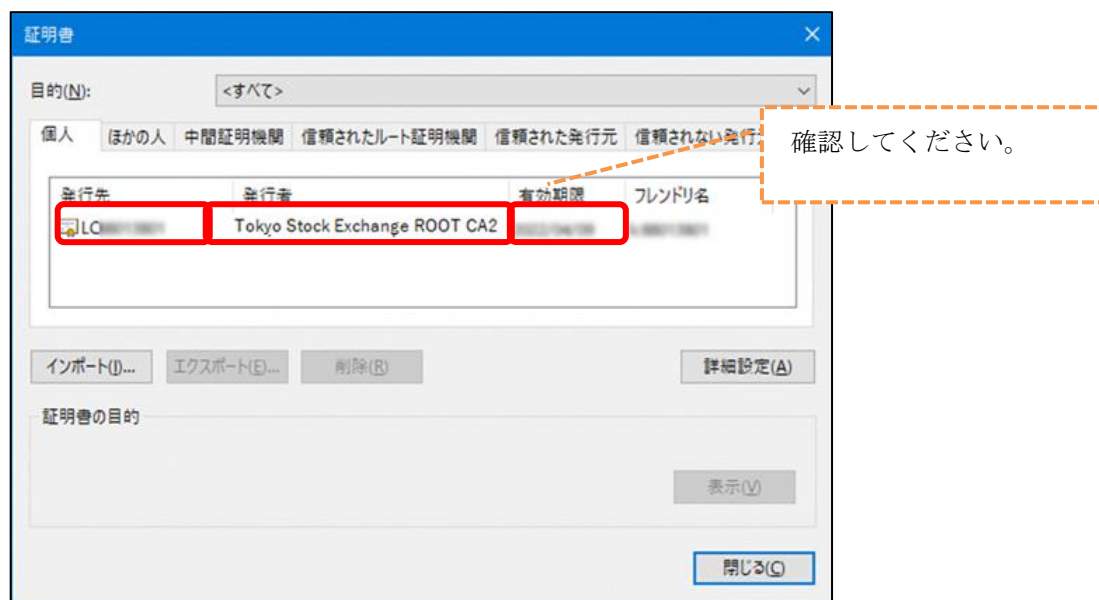
画面右上の「Google Chrome の設定」→「設定」→「プライバシーとセキュリティ」→「セキュリティ」→「証明書の管理」→「ローカル証明書」の「Windows からインポートした証明書を管理する」を押下してください。

【Microsoft Edge の場合】

画面右上の「設定など (Alt+F)」→「設定」→「プライバシー、検索、サービス」を選択→「セキュリティ」の「証明書の管理」の「Windows からインポートした証明書を管理する」を押下してください。

「個人」タブに表示されている証明書が次のように表示されていれば、証明書は正常にブラウザにインストールされています。

- ・ 「発行先」がユーザ ID と同じである
- ・ 「発行者」が「Tokyo Stock Exchange ROOT CA2」である
- ・ 有効期限が発行日当日から 1 年後になっている



以上で、電子証明書が利用端末に組込まれました。



ご注意

「発行者」が「Tokyo Stock Exchange SSO CA」となっている電子証明書は、旧 TSE・CA 証明書発行サービスで取得した電子証明書です。

5. 電子証明書の更新

証明書の有効期間は 1 年です。引き続きシステムをご利用いただく場合は、証明書の更新が必要となります。

証明書更新作業が可能な期間は以下のとおりです。

証明書の有効期限の 30 日前～証明書の有効期限の前日

例えば、証明書の有効期限が 2026/10/1 の場合は、2026/9/1～2026/9/30 が更新可能期間です。

更新期間内の場合は電子証明書の新規発行が可能な状態です。

証明書を更新する場合は、「[4.電子証明書の新規発行](#)」を参照してください。

5.1.電子証明書の状態確認

TSE-CA2 証明書発行サービスにて電子証明書の状態の確認を行います。

<https://portal.arrowfront.jp/ra2/cert/reg/tseca/>

※ http ではなく https であることにご注意ください。

- ① TSE-CA2 証明書発行サービスのログイン画面にて、電子証明書の状態を確認するユーザ ID およびパスワードを入力し、「ログイン」ボタンを押下してください。

The screenshot shows the login page for the TSE-CA2 Certificate Issuance Service. At the top left is the JPX logo. The main heading is "NEW ! TSE-CA2 証明書発行サービス" with a "ヘルプ (HELP)" link on the right. The page title is "ログイン". A red box highlights the login instructions: "ユーザIDとパスワードを入力して「ログイン」ボタンを押してください。" Below this are input fields for "ユーザID" and "パスワード", and a "ログイン" button. A dashed orange box with an arrow points to the button, containing the text "入力後、押下してください。". Below the input fields, there are links for "パスワードが分からないときは、「パスワードをお忘れですか?」を押してください。" and "電子証明書発行サービスの操作方法是「電子証明書マニュアル」を押してください。". At the bottom, there is a link for "旧バージョンの電子証明書管理はこちら". The footer contains the copyright notice: "Copyright © Tokyo Stock Exchange, Inc. All rights reserved."

- ② TSE-CA2 証明書発行サービスのメインページより、「証明書情報の確認/失効」を押下してください。



- ③ 証明書の検索画面の「実行」ボタンを押下してください。



- ④ 「ステータス」の状態が「Valid (有効)」な電子証明書の「有効期限」を確認してください。

JPX
TOKYO STOCK EXCHANGE

NEW! TSE-CA2 証明書発行サービス

ヘルプ(HELP)

戻る

証明書情報

対象ユーザIDの証明書情報は 1 件です。
証明書を失効する場合は、証明書情報をクリックし詳細を開いてください。

No.1
ユーザID :
シリアル番号 :
有効期限 :
ステータス : Valid (有効)
失効日 : -

No.2
ユーザID :
シリアル番号 :
有効期限 :
ステータス : Revoked (失効)
失効日 : 2021/03/11 08:18:11

確認してください。

※「Valid (有効)」な電子証明書が存在しない場合

旧「TSE-CA 証明書発行サービス」にて電子証明書を取得されている場合がございます。

以下の旧「TSE-CA 証明書発行サービス」の「証明書情報の確認／失効」より状態を確認してください。

旧 TSE-CA 証明書発行サービス URL

<https://portal.arrowfront.jp/ra/cert/reg/tseca/>

5.2.古い電子証明書の削除

更新作業後は誤操作の原因になりますので、古い証明書をブラウザから削除してください。

- ① ブラウザメニューより、証明書の管理画面を開いてください。

【Google Chrome の場合】

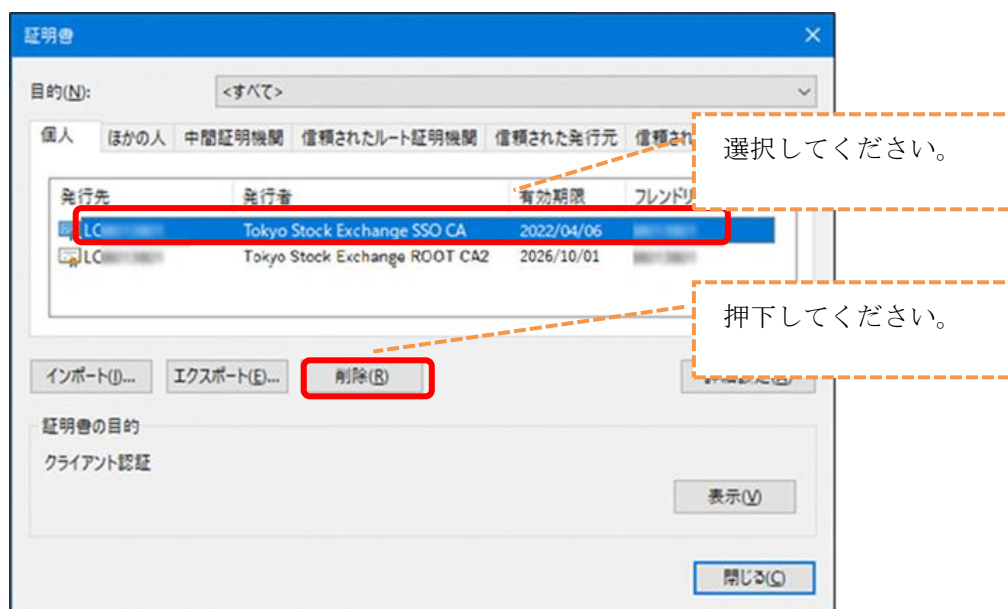
画面右上の「Google Chrome の設定」→「設定」→「プライバシーとセキュリティ」→「セキュリティ」→「証明書の管理」→「ローカル証明書」の「Windows からインポートした証明書を管理する」を押下してください。

【Microsoft Edge の場合】

画面右上の「設定など (Alt+F)」→「設定」→「プライバシー、検索、サービス」を選択→「セキュリティ」の「証明書の管理」の「Windows からインポートした証明書を管理する」を押下してください。

② 同一ユーザ ID の証明書のうち、「有効期限」が古い証明書を選択し、「削除」ボタンを押下してください。

- ・「発行先」がユーザ ID と同じである
- ・「発行者」が「Tokyo Stock Exchange SSO CA」または「Tokyo Stock Exchange ROOT CA2」である



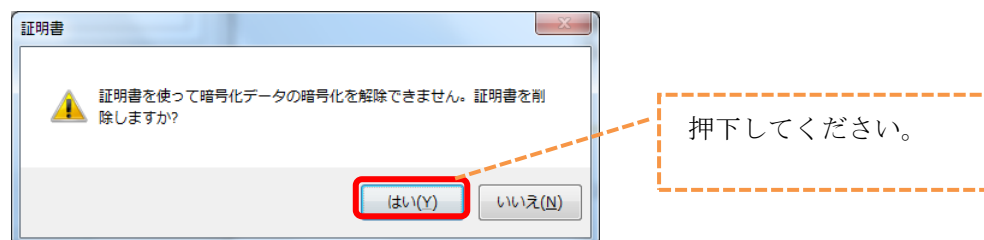
⚠️ ご注意

以下の電子証明書を削除しないようご注意ください。

- ・更新対象ユーザ ID の期限が新しい電子証明書
- ・更新対象ユーザ ID 以外の電子証明書

最新の電子証明書を誤って削除した場合は、対象のユーザ ID でシステムへのログインが出来なくなります。ログインするためには、「[6.電子証明書の再発行](#)」の手順に従い、証明書を再発行してください。

③ 「証明書を削除しますか？」の確認ダイアログが表示されますので、「はい」ボタンを押下してください。



- ④ 古い証明書が削除されたことを確認してください。

証明書

目的(N): <すべて>

個人 ほかの人 中間証明機関 信頼されたルート証明機関 信頼された発行元 信頼されない発行元

発行先	発行者	有効期限	フレンドリ名
LC...	Tokyo Stock Exchange ROOT CA2	2026/10/01	...

インポート(I)... エクスポート(E)... 削除(D) 詳細設定(A)

証明書の目的
クライアント認証

表示(V)

閉じる(C)

以上で、電子証明書の更新が終わりました。

6. 電子証明書の再発行

証明書の有効期間中、下記に示す場合、現在有効な証明書を無効にして新しく証明書を再発行することができます。

- ・ 故障や買い替え等による利用者端末の変更
- ・ Windows ユーザの変更
- ・ 証明書の削除

6.1. 電子証明書の失効

TSE-CA2 証明書発行サービスにて、証明書失効の手続きを行います。対象ユーザ ID の現在有効となっている電子証明書を失効することで、再取得が可能な状態とします。

TSE-CA2 証明書発行サービスの URL は以下のとおりです。

<https://portal.arrowfront.jp/ra2/cert/reg/tseca/>

※ http ではなく https であることにご注意ください。

- ① TSE-CA2 証明書発行サービスのログイン画面にて、電子証明書を失効するユーザ ID およびパスワードを入力し、「ログイン」ボタンを押下してください。

The screenshot shows the login page for the TSE-CA2 certificate issuance service. At the top left is the JPX logo. The main header reads 'NEW ! TSE-CA2 証明書発行サービス' with a 'ヘルプ (HELP)' link on the right. The central heading is 'ログイン'. Below it, a text prompt asks the user to enter their ID and password and click 'ログイン'. There are two input fields: 'ユーザID' and 'パスワード'. The 'ログイン' button is highlighted with a red box. A dashed orange line points from this button to a callout box on the right that says '入力後、押下してください。' (After input, please press). Below the input fields, there are links for 'パスワードをお忘れですか?' and '電子証明書マニュアル'. At the bottom, there is a link for '旧バージョンの電子証明書管理はこちら'. The footer contains the copyright notice: 'Copyright © Tokyo Stock Exchange, Inc. All rights reserved.'

- ② TSE-CA2 証明書発行サービスのメインページより、「証明書情報の確認/失効」を押下してください。



- ③ 証明書の検索画面より、「実行」ボタンを押下してください。



- ④ 表示された証明書情報の「ステータス」が「Valid (有効)」の証明書を選択してください。

※「Valid (有効)」な電子証明書が表示されない場合、
以下の旧「TSE-CA 証明書発行サービス」の「証明書情報の確認／失効」より証明書
情報を確認してください。

旧 TSE-CA 証明書発行サービス URL

<https://portal.arrowfront.jp/ra/cert/reg/tseca/>

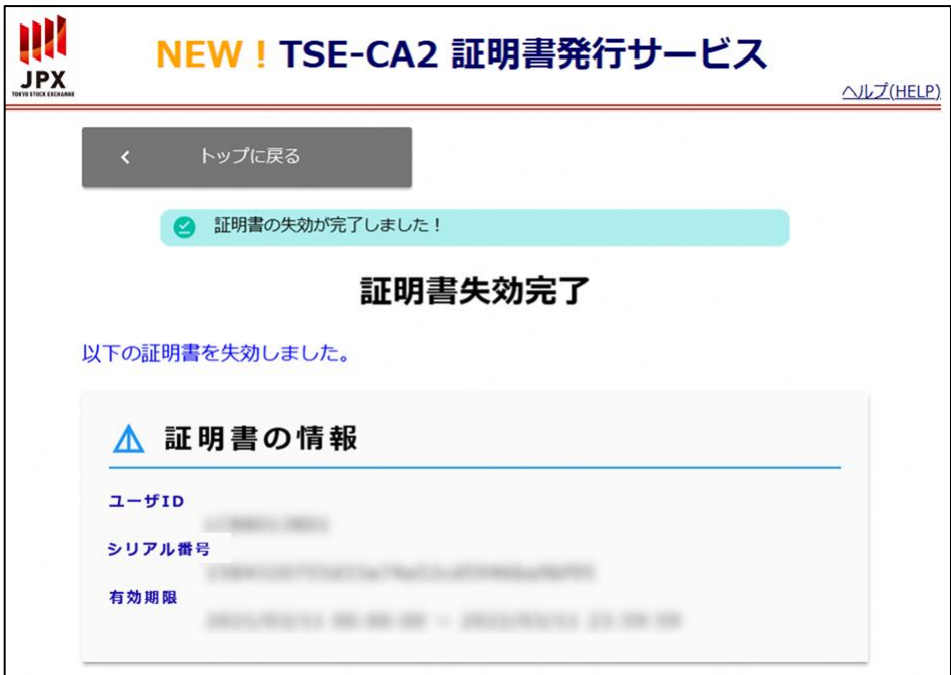
「Valid (有効)」な電子証明書が存在する場合は、旧「TSE-CA 証明書発行サービス」
上で後続作業を進めてください。

「Valid (有効)」な電子証明書が存在しない場合は「[4.電子証明書の新規発行](#)」を参
照し、新規発行を行ってください。

- ⑤ 証明書情報の詳細画面にて「失効する」を押下してください。

- ⑥ 証明書の失効画面にて「実行」を押下してください。

⑦ 電子証明書の失効が完了しました。



6.2. 電子証明書の再取得

証明書の新規発行と同じ手続きを行います。手順は、「[4.電子証明書の新規発行](#)」を参照してください。

7. 各サービスへのログイン

電子証明書取得及び更新後は**ブラウザを再起動**のうえ、各サービスへログインしてください。

※ログインは、各利用システムの推奨環境にて実施してください。

J-IRISS <https://www.ntbiz.j-iriss3.arrowfront.jp/nt/>

TDnet <https://online.td5.arrowfront.jp/onre/>

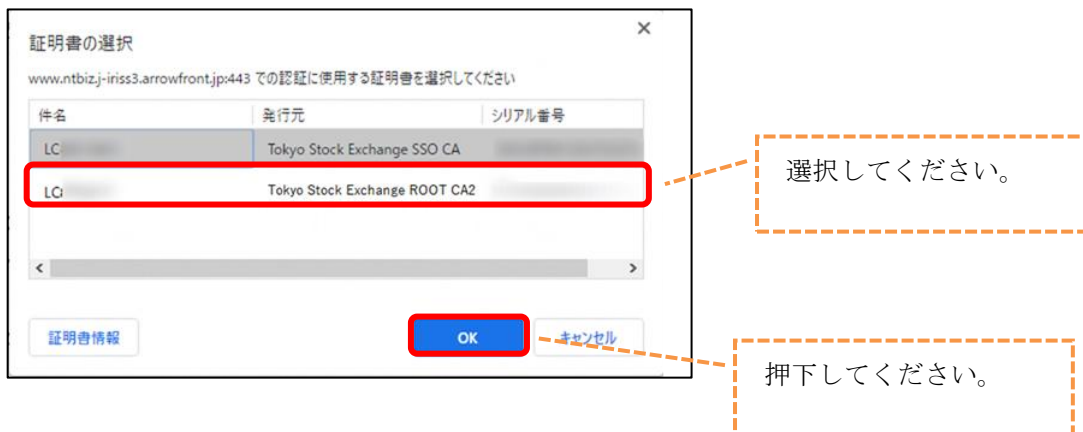
清算受渡 <https://jscc.arrowfront.jp/jpxcube/>

※ http ではなく https であることにご注意ください。

※「証明書の選択」画面が表示された場合は、以下の点に注意のうえ対象のユーザ ID を選択し、「OK」ボタンを押下してください。

- ・ログインを実施するユーザ ID と同一である
- ・「発行元」が「Tokyo Stock Exchange SSO CA」または「Tokyo Stock Exchange ROOT CA2」である

※同一のユーザ ID が複数表示された場合は有効期限が最新の証明書を選択してください



8. よくあるご質問

電子証明書に関するよくあるご質問とその回答を記載します。
お困りの際は、以下の該当項目を参照してください。

8.1. 端末を変更した場合の手続きがわからない。

ご利用端末の変更が発生した場合は電子証明書再発行が必要となります。
詳細は、「[6.電子証明書の再発行](#)」を確認してください。

8.2. 電子証明書取得端末を間違えてしまった。

電子証明書の失効作業を実施し、再度正しい端末にて電子証明書取得作業をお願いします。
申請手順は「[6.電子証明書の再発行](#)」を参照してください。

8.3. 電子証明書発行状態を確認したい。

以下の手順に従い、電子証明書の状態を確認してください。

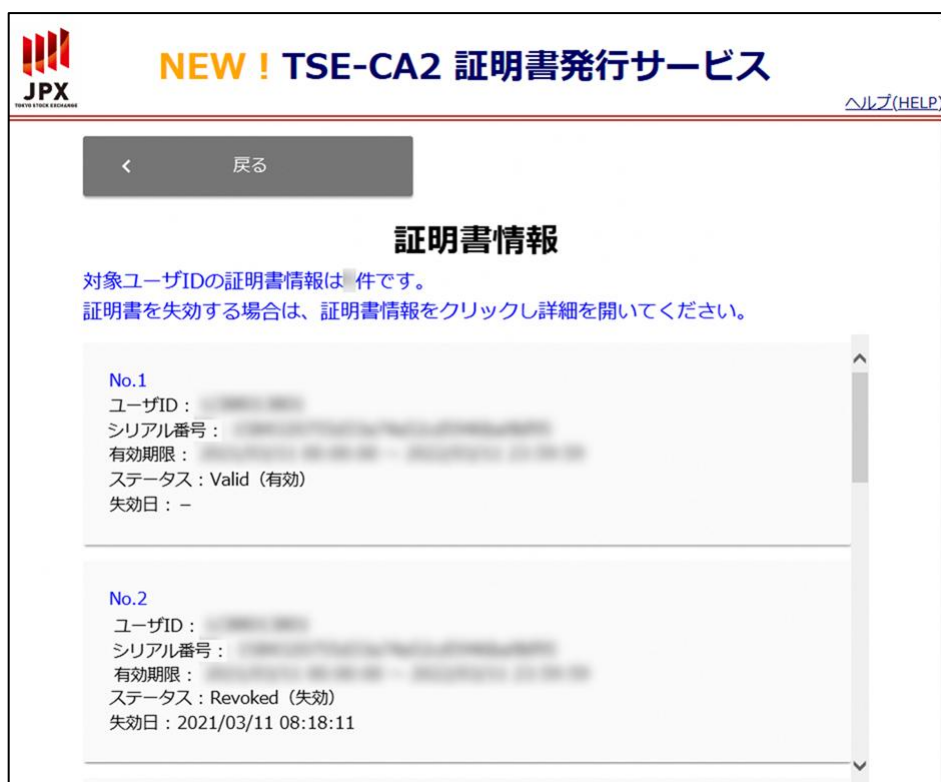
- ① 対象のユーザ ID でログインし、TSE-CA2 証明書発行サービスのメインページより、「証明書情報の確認/失効」を押下してください。



- ② 証明書の検索画面にて「実行」ボタンを押下してください。



- ③ 「有効期限」が最新の日付の証明書情報を確認してください。



- 【対象ユーザ ID の証明書発行履歴がありません。】と表示された場合
旧「TSE-CA 証明書発行サービス」にて電子証明書を取得されている場合がございます。
以下の旧「TSE-CA 証明書発行サービス」の「証明書情報の確認／失効」より状態を確認してください。

旧 TSE-CA 証明書発行サービス URL

<https://portal.arrowfront.jp/ra/cert/reg/tseca/>

新・旧の証明書発行サービスに「Valid (有効)」な電子証明書が存在しない状態になりましたら電子証明書新規発行が可能です。
証明書を取得する場合は、「[4.電子証明書の新規発行](#)」を参照してください。

- 【Revoked (失効)】と表示された場合
旧「TSE-CA 証明書発行サービス」にて電子証明書を取得されている場合がございます。
以下の旧「TSE-CA 証明書発行サービス」の「証明書情報の確認／失効」より状態を確認してください。

旧 TSE-CA 証明書発行サービス URL

<https://portal.arrowfront.jp/ra/cert/reg/tseca/>

新・旧の証明書発行サービスに「Valid (有効)」な電子証明書が存在しない状態になりましたら電子証明書新規発行が可能です。

証明書を取得する場合は、「[4.電子証明書の新規発行](#)」を参照してください。

■ **【Expired (有効期限切れ)】** と表示された場合

電子証明書の有効期限が切れている状態です。

ご利用端末にて電子証明書新規発行が可能です。

証明書を取得する場合は、「[4.電子証明書の新規発行](#)」を参照してください。

■ **【Valid (有効)】** と表示された場合

有効な電子証明書が存在している状態です。

電子証明書を取得した端末にて各サービスへのログインが可能です。

証明書を失効する場合は、「[6.1.電子証明書の失効](#)」を参照してください。

8.4.「有効なクライアント証明書ではありません」と出力される。

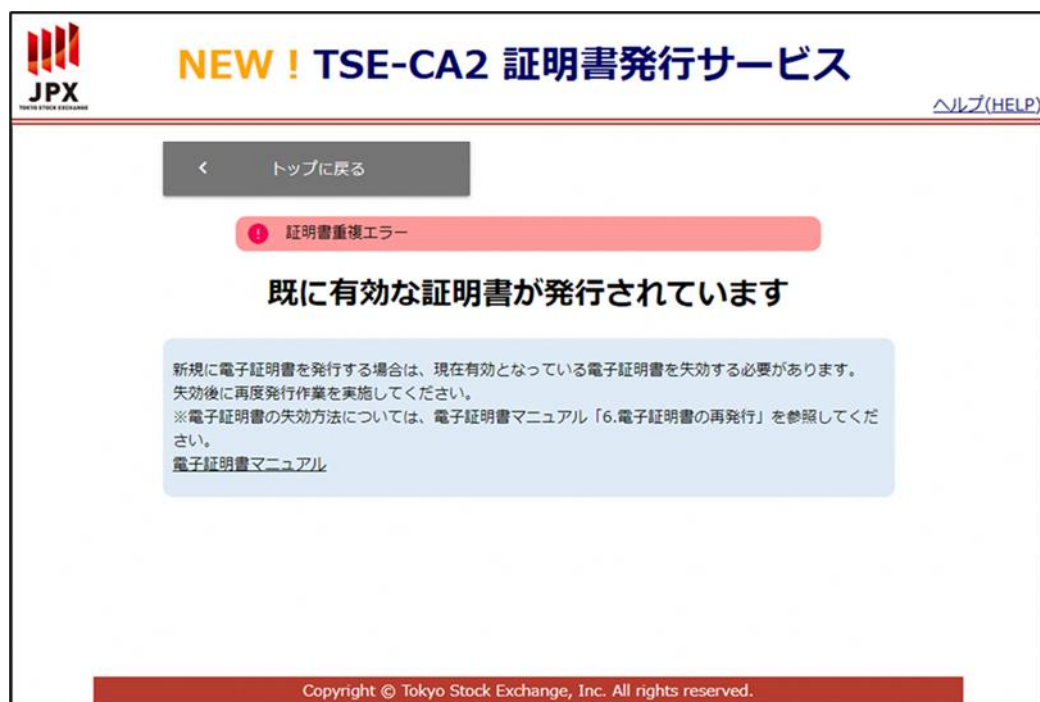


電子証明書取得済みの端末にてブラウザを再起動していただき、正しいURLより再度ログインの実施をお願いします。

URLは、「[7.各サービスへのログイン](#)」を確認してください。

※証明書の選択画面が表示された場合は、正しい電子証明書を選択しているかご確認をお願いします。

8.5.「既に有効な証明書が発行されています」と出力される。



本エラーが表示された場合は、既に有効な電子証明書が発行されています。

「[6. 電子証明書の再発行](#)」をご参照ください。

8.6. 端末にインストールされている電子証明書の確認方法がわからない。

以下の手順に従い、電子証明書のインストール状況を確認してください。

- ① ブラウザメニューより、証明書の管理画面を開いてください。

【Google Chrome の場合】

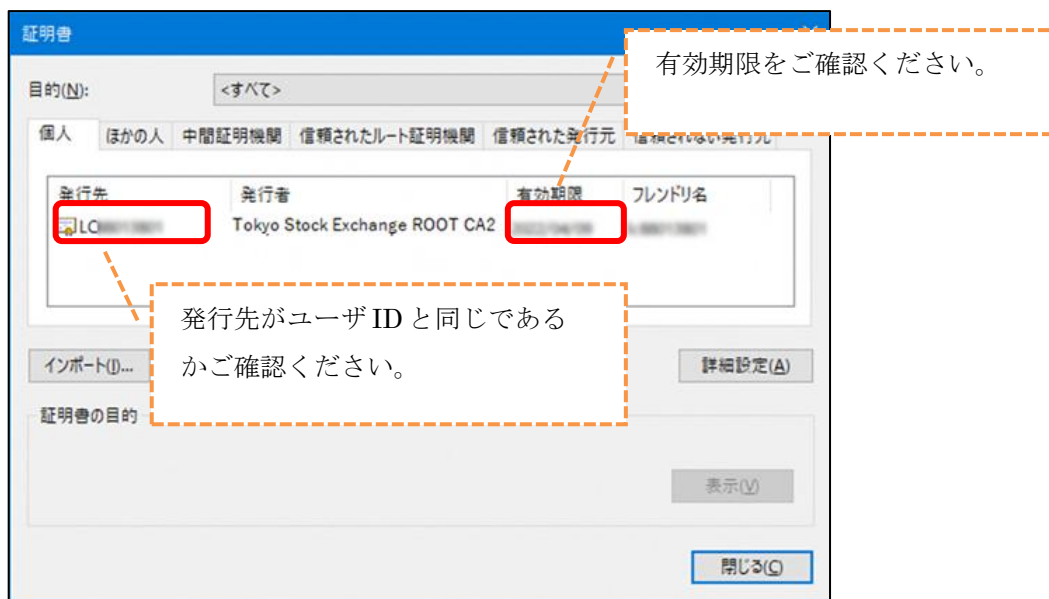
画面右上の「Google Chrome の設定」→「設定」→「プライバシーとセキュリティ」→「セキュリティ」→「証明書の管理」→「ローカル証明書」の「Windows からインポートした証明書を管理する」を押下してください。

【Microsoft Edge の場合】

画面右上の「設定など (Alt+F)」→「設定」→「プライバシー、検索、サービス」を選択→「セキュリティ」の「証明書の管理」の「Windows からインポートした証明書を管理する」を押下してください。

- ② 証明書の管理画面より、証明書情報を確認してください。

- ・ 「発行先」がユーザ ID と同じである
- ・ 「発行者」が「Tokyo Stock Exchange ROOT CA2」である



📌 ご注意

「発行者」が「Tokyo Stock Exchange SSO CA」となっている電子証明書は、旧 TSE-CA 証明書発行サービスで取得した電子証明書です。

8.7. 電子証明書の有効期限が切れてしまった。

ご利用端末にて電子証明書新規発行が可能です。

証明書を取得する場合は、「[4.電子証明書の新規発行](#)」を参照してください。

8.8.パスワードを失念してしまった。

パスワードの再発行を実施してください。

以下〈URL〉にアクセスしていただき、対象のシステムを選択後

「2. パスワード失念に関する質問」を確認してください。

〈URL〉

<https://portal.arrowfront.jp/sso/help/help.html>

また、パスワード再発行後は以下〈URL〉にログインしていただきパスワード変更をお願いします。

※仮パスワードでログインしていただきますと自動的にパスワード変更画面へ遷移されます。

〈URL〉

<https://portal.arrowfront.jp/sso/dfw/imusr/im/Controller/top>